

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

- ・ 期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
- ・ 期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	性別・年齢・国籍などに関係なく、採用・配置・待遇等で公平性を確保。経営トップもダイバーシティに積極的に関与。					○			○		○						○	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	就業規則にハラスメント禁止規定を明記し、相談窓口も設置済。スタッフ全員に年1回の研修を実施。					○			○								○	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	勤怠管理システムを導入し、労働時間の適正な管理を行うとともに、繁忙期以外は残業を抑制。働き方の柔軟化にも対応。								○									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	外国人スタッフが在籍し、労働条件や福利厚生は日本人と同等。言語サポート体制も整備。				○				○		○							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	食品衛生法に準じ、厨房・調理場での安全衛生管理を徹底。マニュアル化や衛生講習も年1回以上実施。			○					○									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	【予定】外部の産業カウンセラーとの連携や、社内メンタルヘルス相談体制の整備を検討中。			○														
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	女性・シニアスタッフの積極登用。個々の特性に応じた業務配分を行い、多様な人材の活躍を支援。					○			○		○							
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	【予定】「健康企業宣言」への参加を準備中。定期健康診断と再検査のフォローを徹底。			○					○									
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	調理技術・接客・商品知識の研修制度を整備。社内研修や外部講師による講座を実施。				○				○	○								
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	パート・アルバイト・正社員に関わらず、職務に応じた評価制度を設け、同一労働同一賃金を意識。								○		○							

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	食材の廃棄を極力減らすため、在庫管理や仕込み量の調整を徹底。端材の活用やリメイクメニューの導入。											○	○		○			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	LED照明、IH調理機器の導入により省エネを推進。使用電力の見直しも定期的を実施。							○						○				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	【予定】CO ₂ 排出量の把握と、使用エネルギーの見える化を通じて、削減施策を検討予定。							○					○	○				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	【非該当】有害化学物質を使用しない業種であるため該当なし。			○			○					○	○					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	地元産ジビエや水産物の活用を通じて、持続可能な資源利用と生態系保全に配慮。						○									○		
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	【予定】節水型設備への更新を検討。厨房での水使用量削減に努めている。						○											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○		
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境													○					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境								○						○				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	【予定】FSC認証の紙製品やサステナブル認証素材の利用を検討中。												○	○	○	○		
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	食材の使い切りメニューやリユース可能な什器の導入、リサイクル分別の徹底を実施中。						○					○	○	○	○	○		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	倫理規定を社内で共有し、コンプライアンスの遵守を徹底。																○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	正当な価格設定と情報公開により、顧客・取引先との信頼関係を維持。																○	
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	【非該当】製造業や研究開発ではなく、知的財産に関する取扱いは限定的なため該当なし。								○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	個人情報保護方針を定め、予約・顧客データ管理において適切な管理体制を構築。																○	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																	○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	主要仕入先と適切な関係を構築し、法令遵守・衛生基準を確認。倫理的調達を重視。					○			○		○		○	○	○	○	○	○

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
28	製品・サービスの安全性 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	食品表示・アレルギー表示等を明記し、安全性に配慮。厨房衛生管理も徹底。			○									○					
29	品質保証 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	お客様の声を社内で共有し、商品改善へ反映。衛生管理マニュアルを整備済。									○								
30	環境配慮製品 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	【予定】容器や包装資材に再生紙やバイオマス素材の導入を検討中。						○						○	○	○	○		
31	社会課題解決製品・サービス ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	地元食材の未利用部位(例:親鶏・鹿肉)を活用した商品開発を通じ、フードロス削減に貢献。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	地域への影響への配慮 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	地域住民や農家と連携した商品開発・販売を行い、地域活性化に貢献。				○					○		○	○		○	○		○
33	社会貢献・地域貢献 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	朝市や地域イベントへ積極的に出店。学校や福祉施設との連携企画にも協力。				○							○			○	○		○
34	地域資源の積極的利用 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	山梨県産の水産物、野菜、ジビエを優先的に使用し、地産地消に取り組んでいる。								○	○		○	○	○				
35	法令遵守 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	スタッフに対し、年1回以上のコンプライアンス研修を実施。厨房では食品衛生法に基づいた指導も実施。																○	
36	内部管理体制 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	経営理念とSDGsを社内でも共有し、朝礼等で定期的に周知。								○	○								○
37	法令遵守 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	内部通報制度(匿名相談窓口)を設け、不正の未然防止を図っている。																○	
38	組織体制 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	代表・店長を中心とした責任体制を整備し、環境・安全面への対応を明確化。																○	
39	リスクマネジメント ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	BOP策定は未着手だが、災害時対応マニュアルや食中毒リスクへの対応体制を整備済。																○	
40	企業の社会的責任 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	地域社会・環境への配慮を理念に掲げた企業活動を展開。食の安心安全にも取り組む。																○	
41	ステークホルダーとの対話 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	地元生産者・自治体・顧客との定期的な対話を通じて、持続的な事業運営を実施。																○	○
42	事業継続 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	【予定】災害時の営業継続のため、在庫管理や代替対応マニュアルの整備を検討									○		○		○			○	

43

「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に「予定」と記載してください。）

- ・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画 2023年策定版」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むSDGsに関する内容（水素・燃料電池、4パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

[illegible]